

大空は
明日へつづく

みんなの学校

2015年2月21日(土)より渋谷・ユーロスペースにてロードショー、
ほか全国順次公開

出演:大空小学校のみんな

監督:真鍋俊永 ナレーション:豊田康雄 企画:迫川緑 プロデューサー:中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之
撮影:大窪秋弘 撮影助手:堀貴人 編集:北山晃 編集協力:薬岳志 整音:中嶋泰成
音響効果:萩原隆之 題字:谷篤史
製作:関西テレビ放送 配給:東風

2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー ©関西テレビ放送

ふつうの公立小学校のみんなが笑顔になる挑戦
不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ

インクルーシブ教育推進フォーラム

～「みんなの学校」から考える～

日時 2016年7月2日(土) 10時～17時

(受付開始 9時30分)

会場 早稲田大学戸山キャンパス 34号館 151教室

(〒169-8050 東京都新宿区戸山1-24-1)

資料代 1,000円 **定員** 100名

情報保障 音声ガイド、手話通訳、PC文字通訳、点字資料有り
(ご希望の方は、6月24日(金)までにご連絡ください)

申込方法 下記参加申し込みウェブフォームからお申込みください
参加申し込みフォーム <https://goo.gl/y7ye4m>

【第1部】

上映会

トークセッション

10:10～13:00

【第2部】

シンポジウム

14:00～17:00

主催・お問合せ先 特定非営利活動法人 DPI 日本会議、公教育計画学会

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8-5 電話 03-5282-3730 メール office@dpi-japan.org)

趣旨・目的

障害者権利条約の批准、「障害の有無によって分け隔てられない共生社会の実現」を目的とした障害者差別解消法の施行など、障害者を取りまく環境は大きく変わろうとしています。教育の分野においても障害の有無によって分け隔てられないインクルーシブ教育体制の実現が大きな課題です。

そこで、DPI 日本会議と公教育計画学会では、第1部として現在大きな反響をよんでいる「みんなの学校」の上映会をトークセッションとともに開催しその実践について理解を深め、第2部では障害当事者の視点を交え、諸外国の制度を参考にしながら、これから日本におけるインクルーシブ教育の制度の在り方とその実践の創造について、これまでの運動の蓄積も踏まえ、相互に知見を共有し、検討する場を設けることを目的とし、本「インクルーシブ教育推進フォーラム」を企画しました。

プログラム（予定） （以下、敬称省略）

10時～10時10分

- 開 会：主催者挨拶 嶺井 正也（専修大学教授）
協力者ご挨拶 岡部 耕典（早稲田大学教授）

10時10分～13時

第1部 上映会＋トークセッション

トークセッション登壇者：

- 堀 智晴（インクルーシブ（共生）教育研究所、大空小学校評議員）
- 海老原宏美（自立生活センター東大和代表、普通学校で教育を受けてきた障害当事者）

14時～17時

第2部 シンポジウム

- 基調報告「障害者制度改革とインクルーシブ教育」
尾上 浩二（DPI 日本会議副議長）
- パネルディスカッション
 - 「国際動向からみた日本におけるインクルーシブ教育の課題」
嶺井 正也（専修大学教授）
 - 「障害当事者にとってのインクルーシブな教育とは」
福地 健太郎（JICA 北海道、公教育計画学会、
普通学校で教育を受けてきた障害当事者）
 - 「インクルーシブ教育を進めるために地方自治体からできること
～藤沢市の取り組みと今後の課題」
竹村 雅夫（藤沢市議会議員）
 - 「韓国のインクルーシブ教育を支える法制度」
崔 栄繁（DPI 日本会議事務局）
- ◇コーディネーター：一木 玲子（大阪経済法科大学客員研究員）
- ◇助言者：堀 智晴、尾上 浩二
- 指定発言：「障害児の親の立場から」 岡部 耕典（早稲田大学教授）
「オーストラリア体験」 小泉 琴子（国際基督教大学学生）